



DST WRC-CA

日本語



# DST WRC-CA

オリジナル取扱説明書



# オリジナル取扱説明書

## 目次

<b>1</b>	<b>文書について</b>	<b>2</b>
1.1	本書について	2
1.2	記号の説明	2
1.2.1	警告表示	2
1.2.2	本書の記号	3
1.2.3	図中の記号	3
1.3	テキスト表示について	3
1.3.1	ソフトウェア	3
1.4	ステッカー / プレート	3
1.5	製品情報	4
1.6	適合宣言	4
<b>2</b>	<b>安全</b>	<b>4</b>
2.1	電動工具の一般安全注意事項	4
2.2	リモートコントロールユニットに関するその他の安全上の注意	5
2.3	バッテリーの慎重な取扱いおよび使用	6
<b>3</b>	<b>製品の説明</b>	<b>6</b>
3.1	製品概要	6
3.2	ディスプレイの表示およびステータスバー	7
3.3	正しい使用	7
3.4	Cut Assist	7
3.5	Joystick	7
3.6	回転つまみ	8
3.7	非常停止ボタン	8
3.8	リモートコントロールユニットのボタン	8
3.9	機能ボタン	8
3.10	可能な設定 <...>	8
3.11	機能 <<...>>	8
3.12	本体標準セット構成	9
<b>4</b>	<b>製品仕様</b>	<b>9</b>
4.1	リモートコントロールユニット	9
4.2	無線通信	9
4.3	PUA 81 充電器	10
4.4	PRA 84 Li-Ion バッテリー	10
4.5	PRA 84 G Li-Ion バッテリー	10
4.6	接続部	10
4.7	EMC 規則に基づく接続電源に関する要求事項	10
<b>5</b>	<b>作業準備</b>	<b>10</b>
5.1	バッテリーを取り外す	10
5.2	バッテリーを充電する	11
5.3	バッテリーを装着する	11
5.4	無線リモートコントロールユニットとパートナー装置をカップリングする	11
5.5	言語、国および測定単位を設定する	11
5.6	電源ヒューズを設定する	11
5.7	切断パラメーターを設定する	12



5.8	ソーブレード直径およびブレードカバー	12
5.8.1	ソーブレード直径およびブレードカバーを設定する	12
5.8.2	ソーブレード直径またはブレードカバーを変更する	12
5.8.3	ソーブレード直径とブレードカバーをリストから削除する	12
5.9	冷却水制御を有効にする	12
5.10	パスワードを変更する	12
5.11	画面明るさを設定する	13
5.12	日付と時刻を設定する	13
5.13	メッセージを確認する	13
5.14	ログブックを確認する	13
5.15	技術情報および期限を迎えるサービス	13
5.16	設定をリセットする	14
<b>6</b>	<b>手動操作</b>	<b>14</b>
6.1	概要	14
6.2	手動切断を行う	14
<b>7</b>	<b>Cut Assist によるサポート操作</b>	<b>15</b>
7.1	概要	15
7.2	サポート切断を行う	15
7.3	サポート切断を停止する	16
7.3.1	切断を停止して手動モードで作業を続ける	16
7.3.2	切断を停止する	16
7.4	ソーブレードを交換する	16
7.5	ブレードカバーを調整する	16
<b>8</b>	<b>ワイヤーソーのご使用方法</b>	<b>17</b>
8.1	ホーム画面	17
8.2	ワイヤー格納部のプーリーを割り当てる	17
8.3	ワイヤー格納部を操作する	17
8.4	ワイヤーソーを使用した手動作業	18
8.5	手動ソー作業における表示	19
8.6	自動ソー作業における表示	19
<b>9</b>	<b>バッテリー装置の手入れと保守</b>	<b>19</b>
<b>10</b>	<b>バッテリー装置の搬送および保管</b>	<b>20</b>
<b>11</b>	<b>故障時のヒント</b>	<b>20</b>
<b>12</b>	<b>廃棄</b>	<b>20</b>
<b>13</b>	<b>メーカー保証</b>	<b>21</b>

## 1 文書について

### 1.1 本書について

- ご使用前に本書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- 本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- 取扱説明書は常に製品とともに保管し、他の人が使用する場合には、製品と取扱説明書を一緒にお渡しください。

### 1.2 記号の説明

#### 1.2.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。以下の注意喚起語が使用されています：



**⚠ 危険**

危険！

▶ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

**⚠ 警告**

警告！

▶ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

**⚠ 注意**

注意！

▶ この表記は、身体の負傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

### 1.2.2 本書の記号

本書では、以下の記号が使用されています：

	使用前に取扱説明書をお読みください
	本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報
	リサイクル可能な部品の取扱い
	工具およびバッテリーを一般ゴミとして廃棄してはなりません

### 1.2.3 図中の記号

図中では以下の記号が使用されています：

<b>2</b>	この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています
3	付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順とは一致しない場合があります
<b>11</b>	概要図には項目番号が付されていて、製品概要セクションの凡例の番号に対応しています
	この記号は、製品の取扱いの際に特に注意が必要なことを示しています。

## 1.3 テキスト表示について

### 1.3.1 ソフトウェア

本書のテキスト表示は以下のようになっています：

HOME	ボタン名は太字（ボールド）かつ大文字となっています
<...>	設定は括弧付きとなっています
<<...>>	機能は二重括弧付きとなっています
Meldungen	画面中央は背景がグレーとなっています

## 1.4 ステッカー / プレート

製品

<b>CUT ASSIST</b>	本製品にはCut Assist 機能があります
-------------------	-------------------------



## 1.5 製品情報

Hilti の製品はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリーの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。

機種名および製造番号は銘板に表示されています。

▶ 製造番号を以下の表に書き写しておいてください。ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、製品データが必要になります。

### 製品データ

リモートコントロールユニット	DST WRC-CA
製品世代	01
製造番号	

## 1.6 適合宣言

当社は、単独の責任において本書で説明している製品が有効な基準と標準規格に適合していることを宣言します。適合宣言書の複写は本書の末尾にあります。

技術資料は本書の後続の頁に記載されています：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH | Zulassung Geräte | Hiltistraße 6 | 86916 Kaufering, DE

## 2 安全

### 2.1 電動工具の一般安全注意事項

**⚠ 警告事項！ 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。これらを守らないと、感電、火災および / または重傷事故の危険があります。**

安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

#### 作業環境に関する安全

- ▶ 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故の原因となります。
- ▶ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
- ▶ 電動工具の使用で、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

#### 電気に関する安全注意事項

- ▶ バイブ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。

#### 作業者に関する安全

- ▶ 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- ▶ 個人用保護具および保護メガネを常に着用してください。負傷の危険を低減するために、電動工具の使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具をバッテリーに接続する前や持ち上げたり運んだりする前に、電動工具がオフになっていることを確認してください。電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、スイッチオンになっている本体を電源に接続すると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- ▶ 作業中は不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。





### 電動工具の使用および取扱い

- ▶ 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- ▶ スイッチが故障している場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の不意の始動を防止することができます。
- ▶ 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。本体に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本体のご使用は避けてください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- ▶ 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- ▶ 先端工具は鋭利で汚れない状態を保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- ▶ 電動工具、アクセサリー、先端工具などは、それらの説明書に記載されている指示に従って使用してください。その際は、作業環境および用途についてもご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

### バッテリー工具の使用および取扱い

- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 電動工具には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ 使用されていないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属物を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ バッテリーを正しく使用しないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。誤ってバッテリー液に触れてしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流して医師の診断を受けてください。

### サービス

- ▶ 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

## 2.2 リモートコントロールユニットに関するその他の安全上の注意



リモートコントロールユニットは関連する規則のすべての要求事項に適合するように設計されていますが、Hiltiとしてはリモートコントロールユニットが強い電磁波により障害を受けて誤作動が発生する可能性を完全に排除することはできません。

このような場合、およびその他の不確実性が考えられる場合は、検査測定を行う必要があります。

- ▶ リモートコントロールユニットは決して加工や改造を加えないでください。
- ▶ ご使用になる前に、リモートコントロールユニットが周囲温度と同じになるのをお待ちください。
  - ▶ 温度差が激しいと、誤作動が発生する可能性があります。
- ▶ 使用場所において無線の使用が許可されているかどうか確認してください。無線の使用が許可されない環境は少なくありません。
- ▶ リモートコントロールユニットのケーブルは本来の目的以外には使用しないでください。リモートコントロールユニットは決してケーブルをつかんで持ち上げないでください。プラグ接続を抜く際はリモートコントロールユニットのケーブルを引張らないでください。
- ▶ 切断の実施中は常にリモートコントロールユニットを携行してください。
- ▶ 危険な状況に気付いた場合には、非常停止ボタンを押してください。
- ▶ **Cut Assist** 機能の使用時には、ソー先端に注意しながら危険領域に立ち入る人がいないことを確認してください。
- ▶ 作業の中断時および清掃 / 保守作業の前には、必ず非常停止ボタンを押してください。
- ▶ 電源コードおよびリモートコントロールユニットのケーブルを、火気、オイル、鋭利な刃物に触れる場所に置かないでください。
- ▶ 所定の動作温度および保管温度を守ってください。
- ▶ リモートコントロールユニット、充電器およびバッテリーの電気接点を湿気から保護してください。



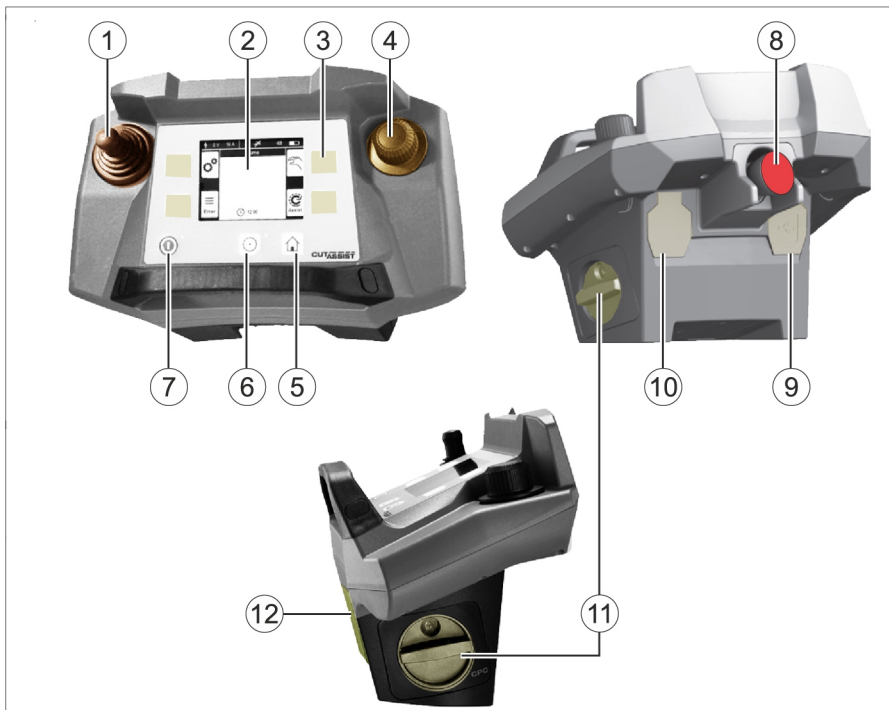
- ▶ 電気接点に触れないでください。
- ▶ 本体はケースに入れる前に乾燥させてください。

### 2.3 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。
- ▶ バッテリーは高温、直射日光および火気を避けて保管してください。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80 °C (176°F) 以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ 衝撃を受けたことのあるバッテリー、1 m を超える高さから落下したことのあるバッテリー、あるいはその他の損傷を被っているバッテリーを使用あるいは充電しないでください。この場合には、必ず最寄りのHilti サービスセンターにご連絡ください。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。バッテリーを、目視確認が可能で可燃物のない場所に、可燃性の資材から十分な距離を設けて置いてください。バッテリーを冷ます。1 時間の経過後にも掴むことのできないほどに熱い場合は、そのバッテリーは故障している可能性があります。Hilti サービスセンターに連絡してください。

## 3 製品の説明

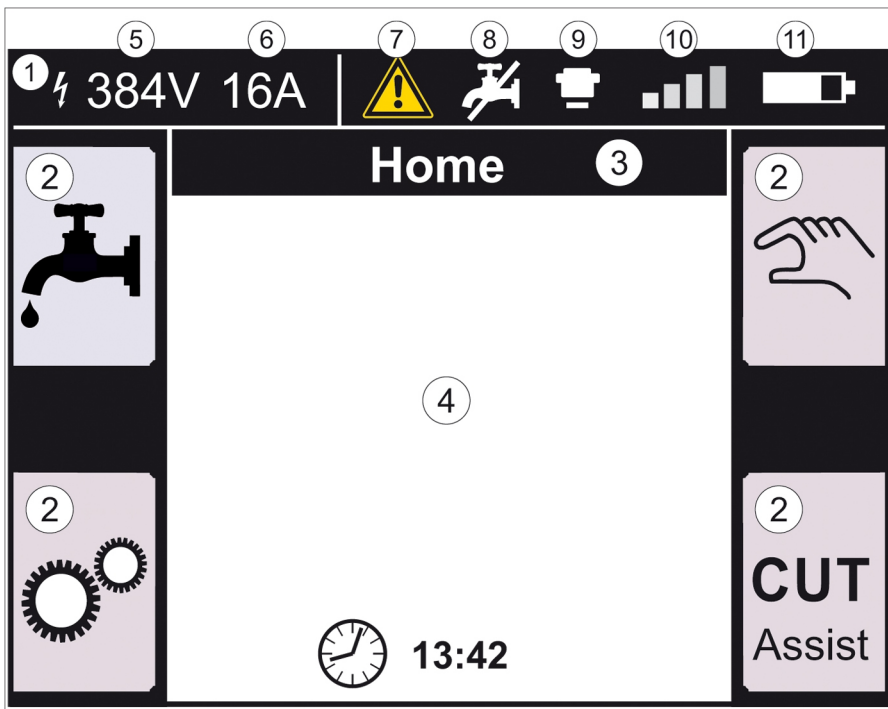
### 3.1 製品概要



- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① Joystick</li> <li>② ディスプレイ</li> <li>③ 状況に応じて機能の異なるボタン</li> <li>④ 回転つまみ</li> <li>⑤ ホームボタン</li> <li>⑥ 信号ランプ付きドライブ ON/OFF ボタン</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ 信号ランプ付き ON/OFF ボタン</li> <li>⑧ 非常停止ボタン</li> <li>⑨ データケーブル接続部</li> <li>⑩ リモートコントロールケーブル接続部</li> <li>⑪ ロック付きバッテリー</li> <li>⑫ キャリアベルトのフック位置</li> </ul> |
|--|---|



### 3.2 ディスプレイの表示およびステータスバー



- |   |                 |   |                              |
|---|-----------------|---|------------------------------|
| ① | ステータスバー         | ⑦ | 危険記号<br>黄 => メッセージ   赤 => 故障 |
| ② | 呼び出された機能の記号     | ⑧ | 給水オン / オフ                    |
| ③ | 画面中央            | ⑨ | 非常停止ボタンが押された                 |
| ④ | 呼び出された機能に関する情報  | ⑩ | 無線接続の信号強度                    |
| ⑤ | パートナー装置で測定された電圧 | ⑪ | またはケーブル接続の記号                 |
| ⑥ | 設定電源ヒューズ        |   | バッテリーの充電状態                   |

### 3.3 正しい使用

本書で説明している製品は、無線またはケーブルを介して特定のHilti 製品を操作できるリモートコントロールユニットです。ケーブルを使用している場合は、無線接続は無効になります。

- ▶ 本製品には、必ず PRA 84 および PRA 84 G シリーズのHilti Li-Ion バッテリーと付属の PUA 81 充電器を使用してください。

### 3.4 Cut Assist

Cut Assist テクノロジーにより様々な作業手順を自動で行うことができます。

このテクノロジーが備わった製品では、アシスト機能が特定の機能を受け持ち、それらを最適化して自動で実行します。

### 3.5 Joystick

Joystick により送り方向を制御します。

安全上の理由から送り速度の初期設定は 0 になっています。

- 送り 1: Joystick を前方または後方に押す
- 送り 2: Joystick を左または右に押す



**i** リモートコントロールユニットをスイッチオンにしたらその都度、最初の送り動作のための Joystick の操作と同時に回転つまみも時計方向に回す必要があります。

### 3.6 回転つまみ

回転つまみにより以下の機能を選択できます：

- ドライブパラメーターの設定。
- 事前設定された値の選択、あるいは「設定」での値の設定。

値を回転つまみで選択あるいは設定する場合は、値あるいは選択の横に回転つまみ記号 が表示されます。

### 3.7 非常停止ボタン

非常停止ボタンを押した後危険領域に立ち入ることができます。

### 3.8 リモートコントロールユニットのボタン

	<b>ON/OFF</b> ボタンを押すと緑色に点灯し、ホーム画面が表示されます。リモートコントロールユニットは作動可能な状態にあります。 オフにするには、画面と緑色のランプが消えるまで押し続けます。
	<b>ドライブ ON/OFF</b> ボタンを押すと緑色に点灯し、ドライブがスタートします。オフにするには短く押します。
	<b>ホーム</b> ホーム画面を表示します。

### 3.9 機能ボタン

ディスプレイ左右の機能ボタンは、ディスプレイの表示内容に依存します。ディスプレイのこれらの各ボタンの横には、その時点で割り当てられている機能のボタン記号が表示されます。

### 3.10 可能な設定 <...>

	電源ヒューズ		切断パラメーター
	ソーブレード直径		自動冷却水
	パスワード		国、言語、測定単位
	日付と時刻		画面明るさ
	メッセージ		システム情報
	ログブック		サービスインジケーター

### 3.11 機能 <<...>>

	設定		回転つまみでの設定
	上へ		下へ



	次へ		OK
	データセットを追加する		データセットを削除する
	進む		戻る
	Cut Assist		手動モード
	稼働時間をゼロにする		ブレード直径のリスト
	冷却水をオンにする		冷却水をオフにする
	障害物を指定する		超過切断
	停止 / 待機		停止 / 小休止
	保存しないでキャンセル		ブランチ速度および切断速度を設定する

### 3.12 本体標準セット構成

DST WRC-CA → 頁 9

その他の本製品用に許可されたシステム製品については、弊社営業担当または **Hilti Store** にお問い合わせいただくか、あるいは [www.hilti.group](http://www.hilti.group) | USA [www.hilti.com](http://www.hilti.com) でご確認ください。

#### DST WRC-CA

1	リモートコントロールユニット	1	リモートコントロールユニットの取扱説明書
1	キャリアベルト	2	バッテリー
1	充電器	1	リモートコントロールケーブル
1	ケース	1	アングル (オプション)

## 4 製品仕様

### 4.1 リモートコントロールユニット

	DST WRC-CA
供給電圧	24 V
IEC 60529 準拠保護等級	IP 65
重量 (EPTA プロシージャ 01 に準拠)	1.6 kg
寸法 (長さ × 幅 × 高さ)	280 mm × 160 mm × 190 mm
リモートコントロールケーブルの長さ	8 m

### 4.2 無線通信

周波数帯域	2,400 MHz ... 2,483.5 MHz
最大送信出力	10,9 dBm
有効距離	20 m



### 4.3 PUA 81 充電器

定格電源	115 V ... 230 V
周波数	47 Hz ... 63 Hz
定格出力	36 VA
定格電圧	12 V
動作温度	0 °C ... 40 °C
保管温度 (乾燥時)	-25 °C ... 60 °C
充電温度	0 °C ... 40 °C

### 4.4 PRA 84 Li-Ion バッテリー

電源電圧	7.2 V ... 13 V
消費電流	120 mA
容量	4.5 Ah
充電時間	2 時間
動作温度	-20 °C ... 50 °C
保管温度 (乾燥時)	-25 °C ... 60 °C
充電温度	0 °C ... 40 °C

### 4.5 PRA 84 G Li-Ion バッテリー

電源電圧	7.2 V ... 13 V
消費電流	270 mA
容量	6 Ah
充電時間	3 時間
動作温度	-20 °C ... 50 °C
保管温度 (乾燥時)	-25 °C ... 60 °C
充電温度	0 °C ... 40 °C

### 4.6 接続部

サービス作業用接続部	USB
リモートコントロールケーブル接続部	パヨネットソケット

### 4.7 EMC 規則に基づく接続電源に関する要求事項

本製品は、お客様設備の商用電源への接続位置における短絡容量  $S_{sc}$  が 350 MVA 以上であるという条件において、IEC 61000-3-12 に適合しています。

本機の設置者あるいは事業者の責任において、必要な場合には電力業者に照会のうえ、本機が必ず  $S_{sc}$  値が 350 MVA 以上の接続位置に接続されていることを確認してください。

## 5 作業準備

### 注意

熱の発生による損傷の危険！

▶ 充電の際には、その都度バッテリーをリモートコントロールユニットから取り外してください。

▶ はじめてお使いになる前にバッテリーをフル充電してください。

#### 5.1 バッテリーを取り外す

1. ロック解除マークが現れるまでロックを反時計方向に回してください。
2. バッテリーをリモートコントロールユニットのスロットから取り出します。



## 5.2 バッテリーを充電する

1. 充電器のプラグをバッテリーに接続します。
2. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
  - ▶ 充電中はバッテリーの赤い LED が点灯します。バッテリーがフル充電されると赤い LED は消灯します。

## 5.3 バッテリーを装着する

1. バッテリーをリモートコントロールユニットのスロットに挿入します。
2. ロックマークが現れるまでロックを時計方向に回してください。

## 5.4 無線リモートコントロールユニットとパートナー装置をカップリングする

製品を初めて無線で操作する前に、無線リモートコントロールユニットとパートナー装置をカップリングする必要があります。これには、パートナー装置の取扱説明書も確認してください。

1. 無線リモートコントロールユニットとパートナー装置を接続ケーブルで接続します。
2. パートナー装置を電源に接続します。
3. 無線リモートコントロールユニットにおいて非常停止が解除されていることを確認します。
4. 無線リモートコントロールユニットをオンにします。
  - ▶ 無線リモートコントロールユニットがパートナー装置を検知すると、直ちにディスプレイに通知が表示されます。
5. 無線リモートコントロールユニットに表示される注意事項に従ってください。

接続ケーブルを無線リモートコントロールユニットから外す前に、無線リモートコントロールユニットをオフにしてください。

## 5.5 言語、国および測定単位を設定する

国と言語の設定は相互に独立しています。本体の電源を最初にオンにすると、まず最初に言語の選択が求められます。

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < 国、言語、測定単位 > を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. 回転つまみで希望の言語を選択します。
4. 設定を <<OK>> で確定します。
  - ▶ 初回のログオンに成功した後は、その後の変更時にはこの手順は省略されます。
5. << 下へ >> で国の設定を選択します。
  - ▶ これには、回転つまみで 3 桁の国別コードを選択します。
6. << 下へ >> で単位の設定を選択します。
  - ▶ これには、回転つまみで希望の単位を選択します。
7. 設定を <<OK>> で確定します。

## 5.6 電源ヒューズを設定する

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < 電源ヒューズ > を選択して <<OK>> を押します。
3. 回転つまみで既存の電源ヒューズの値 (A) を設定します。
4. << 下へ >> ボタンで次の設定を選択します。
5. 回転つまみで電源減衰を設定します。
6. 設定を <<OK>> で確定します。
  - ▶ 設定は保存されて、ディスプレイのステータスバーに電源ヒューズの値が表示されます。

特定の電源状況 (延長コードなど) によっては、「過負荷スイッチオフ」メッセージが頻繁に表示される可能性があります。このような場合には電源減衰を変更します。



## 5.7 切断パラメーターを設定する

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < 切断パラメーター > を選択して <<OK>> を押します。
3. パスワードを入力して <<OK>> を押します。
4. 回転つまみで希望の切断速度を設定します。
5. << 下へ >> ボタンで次の設定を選択します。
6. 回転つまみで先行切断の希望深さを設定します。
7. << 下へ >> ボタンで次の設定を選択します。
8. 回転つまみで後続切断の希望深さを設定します。
9. << 下へ >> ボタンで次の設定を選択します。
10. 回転つまみで先行切断の出力を設定します。
11. 設定を <<OK>> で確定します。

## 5.8 ソーブレード直径およびブレードカバー

ソーブレードは付属のブレードカバーとともに管理されます。表中のデータセットは、ブレードカバー直径が小さいものから大きいものへと記載されています。データセットは、追加、変更、削除が可能です。

### 5.8.1 ソーブレード直径およびブレードカバーを設定する

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < ソーブレード直径 > を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. << 下へ >> ボタンを使用して、まだ値の設定されていないソーブレードとブレードカバーの組合せがあるリストの終端に移動します。
4. << データセットを追加する >> ボタンにより、ソーブレードとブレードカバーの新しい組合せをリストに追加します。
5. 回転つまみで新しいソーブレードの直径を設定します。
6. << 下へ >> ボタンで対応するブレードカバーを選択します。
7. 回転つまみで対応するブレードカバーを設定します。
8. 他に変更する項目がない場合は、設定を <<OK>> で確定します。

### 5.8.2 ソーブレード直径またはブレードカバーを変更する

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < ソーブレード直径 > を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. << 下へ >> または << 上へ >> ボタンでソーブレード直径あるいはブレードカバーを選択します。
4. 回転つまみでソーブレード直径またはブレードカバーを変更します。
5. 設定を <<OK>> で確定します。

### 5.8.3 ソーブレード直径とブレードカバーをリストから削除する

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < ソーブレード直径 > を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. << 下へ >> または << 上へ >> ボタンでソーブレード直径あるいはブレードカバーを選択します。
4. 設定を << データセットを削除する >> で削除します。
5. 設定を <<OK>> で確定します。

## 5.9 冷却水制御を有効にする

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < 冷却水自動制御 > を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. 回転つまみで手動あるいは自動冷却水制御を選択します。
4. 設定を <<OK>> で確定します。

## 5.10 パスワードを変更する

1. ホーム画面で << 設定 >> を選択します。
2. < パスワード > を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. 回転つまみで各桁に対して古いパスワードの数字を設定します。
  - ▶ パスワードを忘れた場合は、設定をリセットする必要があります。





4. 古いパスワードを <<OK>> で確定します。
  - ▶ **パスワードを変更する**画面が現れます。
5. <<次へ>> ボタンで次の設定を選択します。
6. 回転つまみで各桁に対して新しいパスワードの数字を設定します。
7. 設定を <<OK>> で確定します。

### 5.11 画面明るさを設定する

1. ホーム画面で <<設定>> を選択します。
2. <画面明るさ> を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. 回転つまみで希望の画面明るさを設定します。
4. 設定を <<OK>> で確定します。

### 5.12 日付と時刻を設定する

1. ホーム画面で <<設定>> を選択します。
2. <日付と時刻> を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. 回転つまみで時間を設定します。
4. <<次へ>> ボタンで次のフィールドに切り替えます。
5. 回転つまみで分を設定します。
6. <<次へ>> ボタンで次のフィールドに切り替えます。
7. 回転つまみで年を設定します。
8. <<次へ>> ボタンで次のフィールドに切り替えます。
9. 回転つまみで月を設定します。
10. <<次へ>> ボタンで次のフィールドに切り替えます。
11. 回転つまみで日を設定します。
12. 設定を <<OK>> で確定します。

### 5.13 メッセージを確認する



この画面は、どのようなメッセージが保存されたかを確認するためのものです。

1. ホーム画面で <<設定>> を選択します。
2. <メッセージ> を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. <<下へ>> または <<上へ>> ボタンで、メッセージリスト中のいずれかのメッセージを選択します。
4. 選択したメッセージを表示させるには、<<OK>> を押します。
  - ▶ メッセージが表示されます。
5. メッセージ一覧に戻るには <<OK>> を押します。

### 5.14 ログブックを確認する



この画面は、直近のゼロ設定以降の手動モードおよびサポートモードにおける作動時間を確認するためのものです。

1. ホーム画面で <<設定>> を選択します。
2. <ログブック> を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. <<下へ>> または <<上へ>> ボタンで手動あるいはサポートモードに対する詳細情報を選択します。
4. 直近の切断に関する詳細情報を表示させるには、<<OK>> を押します。

### 5.15 技術情報および期限を迎えるサービス



この画面には、稼働時間、次のサービスまでの作動可能時間、製造番号およびハードウェアとソフトウェアのバージョン番号が表示されます。

1. ホーム画面で <<設定>> を選択します。
2. <サービスインジケータ> を選択し、設定を <<OK>> で確定します。
3. <<下へ>> または <<上へ>> ボタンで次の画面へ切り替えます。



4. << 戻る >> ボタンで画面を終了します。

## 5.16 設定をリセットする

1. ホームボタンを押します。
2. ホームボタンを押し、設定をリセットする画面が現れるまで押し続けます。
3. <<OK>> でリモートコントロールユニットを工場出荷時の設定にリセットするか、あるいは<< 保存しないでキャンセル >> で画面を閉じます。
  - ▶ パートナー装置のベアリング情報は削除されません。

## 6 手動操作

### 6.1 概要

手動切断では、切断の前においても切断中においても作業者自身がすべての設定を行います。ソーブレードを取り付ける前にその外径を測定してください。入力した直径は、ソーブレード回転数および切断の深さと長さに影響を及ぼします。レールの取付け、国の選択およびシステム許容誤差は切り込み深さと切断長さに影響を及ぼします。達成される切り込み深さおよび切断長さとして表示あるいは設定されている値とは、少なからぬずれがある可能性に注意してください。

### 6.2 手動切断を行う

1. **ON / OFF** ボタンを押します。
    - ▶ ボタンが緑色に点灯し、ホーム画面が表示されます。
    - ▶ リモートコントロールユニットは作動可能な状態にあります。
  2. << 手動モード >> を選択します。
    - ▶ ソーブレード画面が表示されます。
  3. 回転つまみでソーブレード直径を設定します。
  4. ソーヘッドをスタート位置にします。
    - ▶ これには Joystick を上または下へ押し続け、同時に回転つまみで送り速度を設定します。
- i** 同時に Joystick も操作されていない状態で回転つまみを操作すると、ブレード直径も変更されます。Joystick を約 5 秒間 1 つの位置に維持していると、送り動作が一定送りとして受領されます。これは送りにのみ適用されることで、切込み深さには適用されません。ソーヘッドがターゲット位置に到達するまで Joystick から手を放すことができます。ソーヘッドが希望の位置になったなら、直ちに Joystick を短時間操作してください。
5. **ドライブ ON / OFF** ボタンを押します。
    - ▶ ソーブレードのドライブがスタートします。
  6. 自動冷却水が有効になっていない場合は、<< 冷却水をオンにする >> で冷却水をオンにします。
  7. 切断を開始するには Joystick を左または右へ動かし、同時に回転つまみで希望の出力を設定します。ソーブレードが希望の切り込み深さに達したなら、直ちに Joystick から手を放します。算出された切り込み深さがリモートコントロールユニットのディスプレイに表示されます。
  8. ソーヘッドをレール上で動かすには Joystick を上または下へ押し、必要に応じて回転つまみで出力を調整します。
  9. 速度を回転つまみにより手動で調整するために、必要に応じて << ブランジ速度および切断速度を設定する >> 機能を使用します。ボタンを再度押すと、ソーは自動モードに切り替わります。
  10. 切断終点に到達したら Joystick を短時間操作してソーの送りを停止させます。
  11. 希望の総切り込み深さに達するまでステップ 7...10 を繰り返します。
  12. Joystick でソーブレードを切断継目から出して 12 時位置にしてください。
  13. **ドライブ ON / OFF** ボタンを押します。
    - ▶ ソーブレードのドライブが停止します。
  14. 自動冷却水が有効になっていない場合は、<< 冷却水をオフにする >> で冷却水をオフにします。
  15. ソーヘッドを取外しが容易な位置へ移動させます。
  16. **非常停止** を押します。



## 7 Cut Assist によるサポート操作

### 7.1 概要


このリモートコントロールユニットは、Cut Assist 機能を備えています。これにより、様々な作業手順を自動で行うことができます。

Cut Assist 機能を選択すると、切断の実行に必要なパラメーターについて尋ねられます。必要な値を入力してソーブレードドライブがスタートすると、切断はほとんど自動で行われます。

その際作業による操作が必要な場合には、ディスプレイに必要な処置を行うように作業者に要求するメッセージが表示されます。

ソーブレードを取り付ける前にその外径を測定してください。入力した直径は、ソーブレード回転数および切断の深さと長さに影響を及ぼします。

### 7.2 サポート切断を行う

 ここで提示されるソーブレード直径の値とブレードカバータイプは、<<設定>>において定義することができます。ソーブレード直径およびブレードカバー構成の変更は設定に適用されます。

1. ON/OFFボタンを押します。
  - ▶ ボタンが緑色に点灯し、ホーム画面が表示されます。
  - ▶ リモートコントロールユニットは作動可能な状態にあります。
2. <<Cut Assist>> ボタンでサポートモードを有効にします。
  - ▶ ソーブレードとカバー画面が表示されます。
3. 回転つまみで使用するソーブレードの直径を設定します。
  - ▶ 公称直径の変更は±50 mm の範囲で可能です。
4. <<下へ>> ボタンでブレードカバーの選択に切り替えます。
5. 回転つまみで使用するブレードカバーを選択します。
6. 設定を <<OK>> で確定します。
  - ▶ 壁厚と切り込み深さの指定のため、切り込み深さ画面が表示されます。
7. 回転つまみで壁厚を入力します。
8. <<下へ>> ボタンで最大切り込み深さの指定に切り替えます。
9. 回転つまみで最大切り込み深さを入力します。
10. 設定を <<OK>> で確定します。
  - ▶ スタート点画面が表示されます。ここで、ソーヘッドの中心マークからスタート点までの間隔を指定し、障害物を指定し、超過切断を許可することができます。
11. 切断開始時に超過切断を行うかどうかを指定します。
  - ▶ 超過切断では切断が延長され、可能であれば設定された切断長さが切断される壁面の裏側に達するようになります。
12. 切断開始位置までの約 40 cm の間隔の中にブレードカバーとの衝突の危険がある障害物がある場合は、<<障害物を指定する>> ボタンを押します。
13. 回転つまみで、ソーヘッドの中心マークと切断開始位置間隔を入力します。
  - ▶ 切断のスタート点が中心マークから見てプラス記号方向にある場合は間隔を正の値として設定し、そうでない場合は負の値として設定します。障害物の指定では、入力したソーヘッドとの間隔の妥当性がチェックされます。入力した間隔が小さすぎると、その値は必要最小値に修正されます。
  - ▶ 修正の際には、修正された値が画面に表示されます。
14. 設定を <<OK>> で確定します。
  - ▶ 切断長さ画面が表示されます。ここで、切断長さの指定、障害物の指定、および超過切断の許可を行うことができます。
15. 切断終点において超過切断を許可するかどうかを指定します。
  - ▶ 超過切断では切断が延長され、可能であれば設定された切断長さが切断される壁面の裏側に達するようになります。
16. 切断終点までの約 40 cm の間隔の中にブレードカバーとの衝突の危険がある障害物がある場合は、<<障害物を指定する>> ボタンを押します。
  - ▶ 入力された切断長さは妥当性がチェックされ、可能な最小値に修正されます。修正の際には、修正された値が画面に表示されます。
17. 回転つまみで切断長さを設定します。
18. 設定を <<OK>> で確定します。
  - ▶ 設定のチェックのために切断概要画面が表示されます。下側の領域には必要なソーブレード数と切断数が表示されます。



19. 入力を訂正する必要がある場合は、<< 戻る >> ボタンを押します。
20. すべてのデータが正しいなら、ドライブ **ON/OFF** ボタンでサポート切断をスタートさせます。



切断作業中に必要に応じて切り込み深さ、出力および回転数を調整することができます。切断が終了すると、直ちにソーブレードが切断位置から出ます。水とドライブが停止します。実行した切断に対して切断面積と切断時間が表示されます。設定 / ログブックにおいて最後に行われた切断の履歴を呼び出すことができます。

### 7.3 サポート切断を停止する

サポート切断は短時間停止させること、小休止のために中断させることあるいは完全にキャンセルすることができます。

#### 7.3.1 切断を停止して手動モードで作業を続ける

1. << 停止 / 待機 >> ボタンを押します。
  - ▶ ソーヘッドの送りが中断され、切断は停止しますが、ソーブレードは回転し続けます。
  - ▶ **Cut Assist 作動中**画面はグレースアウトし、システムは停止状態になります。
2. << 手動モード >> ボタンを押します。
  - ▶ **手動モード**画面が表示されます。
3. 手動切断を行います、**手動切断を行う** → 頁 14を参照してください。

#### 7.3.2 切断を停止する

1. << 停止 / 待機 >> ボタンを押します。
  - ▶ ソーヘッドの送りが中断され、切断は停止しますが、ソーブレードは回転し続けます。
  - ▶ 停止状態にあることを示す画面が表示されます。
2. << 停止 / 小休止 >> ボタンを押します。
  - ▶ ソーブレードが切断位置から出て停止します。**Cut Assist 作動中**画面はグレースアウトします。
3. **非常停止**ボタンを押します。
  - ▶ 作業者は危険領域に立ち入ることができます。



**Cut Assist** による切断を続けるためにドライブ **ON/OFF** ボタンを押す前、あるいは << 手動モード >> に切り替える前に、**非常停止**をロック解除する必要があります。

### 7.4 ソーブレードを交換する



サポート切断中により大きなソーブレードが必要になる場合には、ソーアームが切断継目から出て、ソーブレードが停止され、**ブレード交換**画面が表示されます。

1. **非常停止**を押します。
2. 現在のものより1つ大きいサイズのソーブレードとそれに対応したブレードカバーを取り付けます。
3. 回転つまみでソーブレードの外径とブレードカバーを設定します。
  - ▶ 入力した外径はソーブレード回転数、切り込み深さおよび切断長さに影響を及ぼします。
4. **非常停止**を解除します。
5. 入力を <<OK>> で確定します。
  - ▶ **Cut Assist 作動中**画面はグレースアウトします。
6. ドライブ **ON/OFF** ボタンで切断を続けます。
  - ▶ **Cut Assist 作動中**画面はグレースアウトします。

### 7.5 ブレードカバーを調整する



サポート切断中に予め設定されている障害物に到達すると送りは停止されますが、ソーブレードは回転を続けます。ブレードカバーの調整のための画面が現れます。

1. <<OK>> を押します。
  - ▶ ソーブレードが切断位置から出て停止します。画面のダイアログ領域に「カバーを調整する」のメッセージが現れます。
2. **非常停止**を押します。
3. ブレードカバーを障害物に応じて調整してください。



4. セグメントを取り外した危険領域には保護対策を施してください。
5. 危険領域内に人がいないことを確認してください。
6. 非常停止を解除します。
7. <<OK>> でブレードカバーが調整されたことを確認します。
  - ▶ **Cut Assist 作動中**画面はグレースアウトします。
8. ドライブ **ON/OFF**ボタンで切断を続けます。
  - ▶ 切断が更なる操作なしで終了する場合は、**CUT Assist 完了**画面が表示されます。更なる操作が必要な場合には、**カバーを確実に装着する**画面が表示されます。

## 8 ワイヤソーのご使用方法

### 8.1 ホーム画面

駆動ユニットを初めてお使いになる前に、無線リモートコントロールユニットと駆動ユニットをカップリングする必要があります。5.4章の手順に従い、ディスプレイ上の操作に関する注意事項を遵守してください。

カップリングは、初めて無線リモートコントロールユニットと駆動ユニットと一緒に使用する際に行う必要があるだけで、カップリングに成功した後は、その状態が保存されます。

操作ボタンの機能：

- 給水 ON / OFF
- 手動ソーモード
- プーリー割当て
- 設定



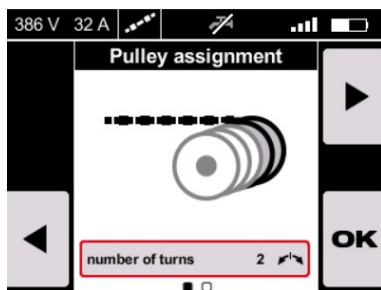
### 8.2 ワイヤー格納部のプーリーを割り当てる

設定は、ダイヤモンドワイヤーを掛ける際に用いるワイヤー格納部のプーリー数に相当します。ワイヤー長に応じて複数のプーリーを使用する必要があります。

DSW 1510-CA 取扱説明書の格納部レベルを作動中に変更するの章の操作に関する注意事項も確認し、遵守してください。

1. ホーム画面の ボタンを押します。
  - ▶ プーリー割当て画面が表示されます。
2. 回転ノブにより使用されているプーリーの数を設定します。
  - ▶ プーリー数は「ターン数」と表示されます。
3. 値を **OK** ボタンで確定します。
  - ▶ ワイヤーの張りの最小圧は自動的に設定されます。
  - ▶ ワイヤー格納部画面が表示されます。

矢印ボタン によりホーム画面に戻ります。矢印ボタン で以前の圧力設定に戻り、最後に設定された圧力にすることができます。



### 8.3 ワイヤー格納部を操作する

ワイヤーの張りを手動で調整するには、非常停止を操作し、DSW 1510-CA 駆動ユニットのワイヤーの張りボタンを使用します。



**i** DSW 1510-CA 駆動ユニットの取扱説明書にあるワイヤー格納部の操作に関する注意事項を確認してください。

これに代えて、この画面においてワイヤー格納プリー位置を調整し、それによりワイヤーの張りを手動調整することもできます。

ワイヤー格納部を操作する前に、人員を危険領域から遠ざけ、駆動ユニットのカバーを閉じ、非常停止をリセットする必要があります。

- ワイヤーを張るには Joystick を右へ押します。
- ワイヤーをニュートラル位置にするには、Joystick を左へ押しして中立の位置にします。
- ワイヤー格納部をニュートラル位置に移動させるには、 ボタンを押します。

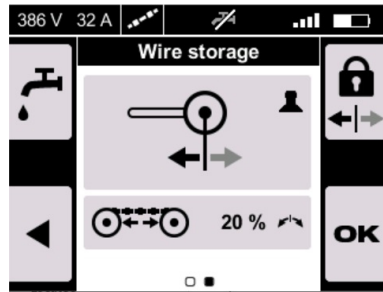
**i** 圧力を調整するには回転ノブを使用してください。

圧力は 1%...100% の範囲で設定できます。

作動中にワイヤー格納プリーを変更するには、必ず DSW 1510-CA 駆動ユニットのワイヤーの張り操作ボタンを使用します。

操作ボタンの機能：

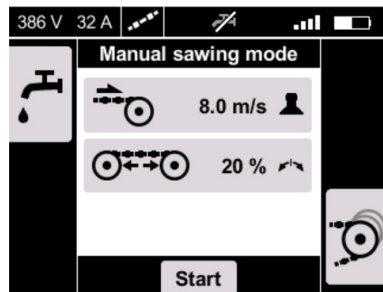
- 給水 ON / OFF
- ニュートラル位置を設定する
- 移動先：手動ソーモード
- 移動先：プリー割当て



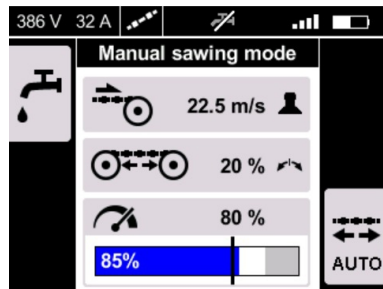
#### 8.4 ワイヤーソーを使用した手動作業

**i** スタートの前にワイヤー格納部プリー割当てに戻る場合は、 ボタンを押します。

1. 非常停止を解除します。
2. 設定において給水が自動に設定されていない場合は、 ボタンを有効にしてください。
3. **Start** ボタンを押し続けてモーターをロック解除します。
  - ▶ モータースタート LED が点灯します。
4. **Start** ボタンから指を放します。
  - ▶ モーターがスタートします。



5. 圧力を回転ノブにより、切断速度を Joystick により調整します。
6. ダイヤモンドワイヤーの速度を調整するには Joystick を使用します。
  - ▶ 速度を高めるには Joystick を右へ押します。
  - ▶ 速度を低減するには Joystick を左へ押します。



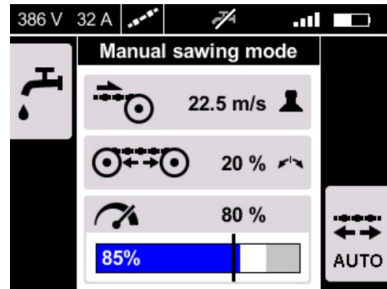
7. 圧力とそれによりワイヤーの張りを調整するには、回転ノブを使用してください。

**i** 圧力は1%...100%の範囲で設定できます。  
**AUTO** ボタンを押すと自動モードに変更することができます。  
 自動モードにおいて、圧力を1%...100%の範囲で手動設定できます。

### 8.5 手動ソー作業における表示

手動作業では、ディスプレイで現在のデータを確認できます。以下が表示されます：

- 切削速度のその時点での設定（単位：m/s）
- ワイヤーの張りの設定（単位：%）
- 出力のその時点での設定（単位：%）
- 現在の出力ステージ（単位：%）



### 8.6 自動ソー作業における表示

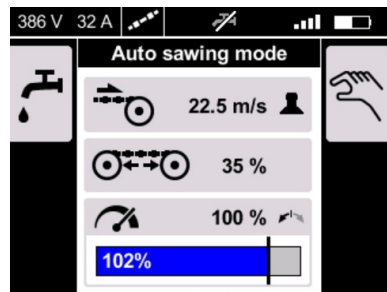
- ボタンを押して自動作業に切り替えます。
- ボタンを押して手動作業に切り替えます。

**i** 作業中は、いつでも手動モードを有効にできます。

**AUTO** モードでは圧力は電子的に自動制御されるので、出力は一定に維持されます。しかしながら、回転ノブにより出力を60%...100%の範囲で変更することができます。

**i** インジケータ は、その時の運転モードに応じて異なる情報を表示します：

- モードでは、現在のワイヤーの張りの設定が表示されます。
- **AUTO** モードでは、その時点での圧力が表示され、出力を60%...100%の範囲で手動で調整できます。



## 9 バッテリー装置の手入れと保守

### 警告

バッテリーを装着した状態における負傷の危険！

- ▶ 手入れや保守作業の前に必ずバッテリーを取り外してください！

#### 本体の手入れ

- 強固に付着した汚れは慎重に除去してください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。

#### Li-Ion バッテリーの手入れ

- バッテリーは清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。



- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。
- 湿気が入り込まないようにしてください。

### 保守

- 目視確認可能なすべての部品について損傷の有無を、操作エレメントについては問題なく機能することを定期的に点検してください。
- 損傷および / または機能に問題のある場合は、バッテリー装置を使用しないでください。直ちにHilti サービスセンターに修理を依頼してください。
- 手入れおよび保守作業の後は、すべての安全機構を取り付けて機能を点検してください。

## 10 バッテリー装置の搬送および保管

### 搬送

#### 注意

#### 搬送時の予期しない始動！

- ▶ お使いの製品は、必ずバッテリーを装着していない状態で搬送してください！
- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ バッテリーは決して梱包しない状態で搬送しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーを長距離にわたって搬送した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

### 保管上の注意事項

#### 注意

#### 故障したあるいは液漏れしたバッテリーによる予期しない損傷！

- ▶ お使いの製品は、必ずバッテリーを装着していない状態で保管してください！
- ▶ 本体とバッテリーは、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。
- ▶ バッテリーを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーは、子供や権限のない人が手を触れることのないようにして保管してください。
- ▶ 本体とバッテリーを長期間にわたって保管した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

## 11 故障時のヒント

この表に記載されていない、あるいはご自身で解消することのできない故障が発生した場合には、弊社営業担当またはHilti サービスセンターにご連絡ください。

故障	考えられる原因	解決策
リモートコントロールユニットの電源が入らない、あるいは画面が暗いまま。	バッテリーが放電している	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電する。</li> <li>▶ リモートコントロールケーブルを使用して作業する。</li> <li>▶ HILTI サービスセンターに連絡する。</li> </ul>
リモートコントロールユニットおよび / または画面が入力に反応しない。	ソフトウェアの故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ リモートコントロールユニットとパートナー装置を電源から切り離し、改めてスタートさせる。</li> <li>▶ HILTI サービスセンターに連絡する。</li> </ul>
切断パラメーターを変更できない。	パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ HILTI サービスセンターに連絡する。</li> </ul>

## 12 廃棄

Hilti 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でHiltiは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはHilti 代理店・販売店にお尋ねください。

### バッテリーを廃棄する

バッテリーを誤った方法で廃棄すると、漏出するガスあるいはバッテリー液により健康を損なう危険があります。





- ▶ 損傷したバッテリーを送付しないでください！
- ▶ 短絡を防止するために接続部を非導電性のもので覆ってください。
- ▶ バッテリーは子供が手を触れることのないように廃棄してください。
- ▶ バッテリーの廃棄は、最寄りのHilti Store あるいは適切な廃棄物処理業者に依頼してください。



- 
- ▶ 電動工具、電子機器およびバッテリーを一般ゴミとして廃棄してはなりません！
- 

### 13 メーカー保証

---

- ▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りのHilti 代理店・販売店までお問い合わせください。







**Hilti Aktiengesellschaft**  
Feldkircherstraße 100  
9494 Schaan | Liechtenstein

**DST WRC-CA (01)**

[2014]

2006/42/EG

EN ISO 12100

2011/65/EU

EN 60204- 1

2014/30/EU

EN 15027

1999/5/EG

EN 300 328 V1.8.1

EN 301 489-1 V1.9.2

EN 301 489-17 V2.2.1

Schaan, 06/2015

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Paolo Luccini".

**Paolo Luccini**

Head of BA Quality and  
Process-Management  
BA Electric Tools & Accessories

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Johannes Winfried Huber".

**Johannes Winfried Huber**

Senior Vice President  
Business Unit Diamond



Hilti Corporation  
LI-9494 Schaan  
Tel.:+423 234 21 11  
Fax:+423 234 29 65  
[www.hilti.group](http://www.hilti.group)



**2061758**

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan

20201204